英文法 L01 第 43 講 等位接続詞

学習目標

対等に結ぶ語句・節と意味関係に合う等位接続詞を選ぶことができる。

1. 等位接続詞とは

英語では、複数の語句や節をつなぎ、それらを対等な関係で結ぶことがある。このときに使う語を**等位接続詞**という。代表的なものが and、but、or であり、それぞれ追加・対比・選択という意味関係を表す。

語・句・節

語は 1 つの単語、**句**は複数の語がまとまって 1 つの働きをするもの、**節**は主語と動詞を含む語のまとまりである。等位接続詞は、単語どうしだけでなく、句どうしや節どうしを結ぶこともできる。

2. and・but・or の意味と使い方

and：追加・並列

and は、語句や節を結び、情報を付け加えたり、複数のものを並べたりするときに使う。

対訳

I like tea and coffee.

私は紅茶とコーヒーが好きだ。

この文では、tea と coffee という 2 つの語が and で結ばれている。

We went to the park and to the library.

公園への句 [公園への句]: “to the park”

and [接続詞]: “and”

図書館への句 [図書館への句]: “to the library”

私たちは公園と図書館へ行った。

この文では、and の前後にある to the park と to the library という句が結ばれている。直近の単語だけを見るのではなく、前後の語がそれぞれどのまとまりを作っているかを確認することが大切である。

but：対比

but は、前後の内容を対比させるときに使う。前に述べたことから予想される内容とは異なることを、後ろに続ける場合などに用いる。

対訳

I was tired, but I finished my homework.

私は疲れていたが、宿題を終えた。

©ミライコーチング

この文では、I was tired と I finished my homework という 2 つの節が but で結ばれている。疲れていたことと宿題を終えたことが対比されている。

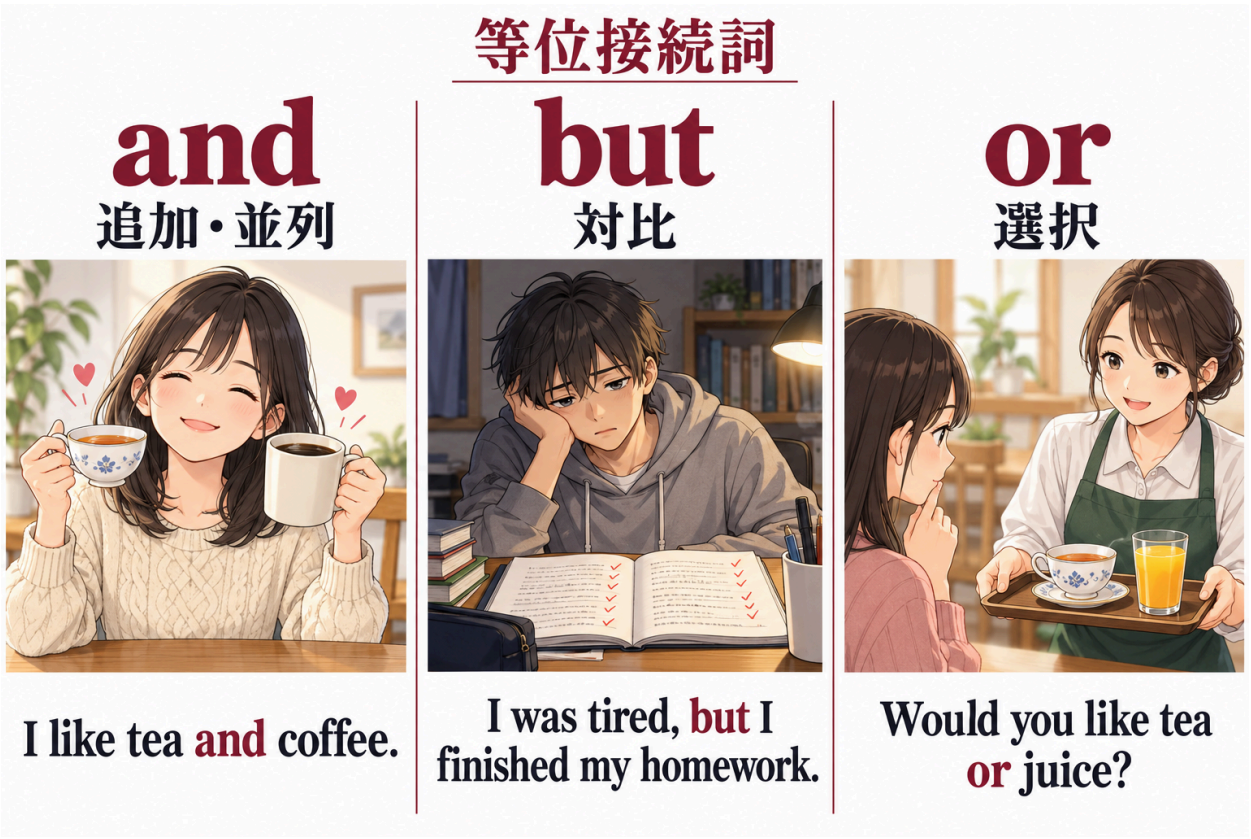
or：選択

or は、複数の選択肢を示すときに使う。

対訳

Would you like tea or juice?

紅茶とジュースのどちらがいいですか。
この文では、tea と juice という 2 つの語が or で結ばれ、選択肢を示している。



and は好みの追加、but は疲れた状態と宿題完了の対比、or は飲み物の候補提示を表す。

等位接続詞を選ぶときの判断

等位接続詞を選ぶときは、まず前後のどの語句・節が結ばれているかを確認し、次にそれらの意味関係を考える。

and は追加・並列、but は対比、or は選択を表す。ただし、接続詞の前後に必ず同じ品詞の単語だけが置かれるわけではない。語句や節をひとまとまりとして捉え、文全体の構造と意味の両方から判断することが重要である。

3. 例題

1

次の英文で、and が結んでいる 2 つの節全体の組み合わせを選べ。

Mia stayed at home, and her brother played soccer in the park.

A. stayed at home と played soccer in the park

B. Mia stayed at home と her brother played soccer in the park

C. Mia stayed at home と played soccer in the park

D. at home と her brother played soccer

解答・解説

正解：B

まず、接続詞 and の前後で、どの語句がまとまりを作っているかを確認する。次に、選択肢が文中で実際に結ばれている範囲と一致するかを判断する。

対訳

Mia stayed at home, and her brother played soccer in the park.

ミアは家にいて、彼女の兄（弟）は公園でサッカーをした。

この文では、Mia stayed at home と her brother played soccer in the park という 2 つの節が and で結ばれている。それぞれの節には主語と動詞があり、前後の内容が並列されている。and の直前・直後の単語だけでなく、結ばれているまとまり全体を見ることが判断のポイントである。

A. stayed at home と played soccer in the park は、それぞれ動詞を中心としたまとまりだが、この文で and が結んでいる 2 つの節全体ではない。

B. Mia stayed at home と her brother played soccer in the park は、どちらも主語と動詞を含む節であり、and が結んでいる範囲と一致する。

C. Mia stayed at home は前半の節全体だが、played soccer in the park には後半の主語 her brother が含まれていないため、後半の節全体を示していない。

D. at home は前半の場所を表す句であり、her brother played soccer は後半の節から場所を表す部分を除いたまとまりである。どちらも、and が結んでいる 2 つの節全体ではない。

©ミライコーチング



and は、Mia stayed at home と her brother played soccer in the park という、主語を含む 2 つの節全体を結ぶ。

2

空所に入る最も適切な語を選べ。空所に入る接続詞によって、疲れていたことと、それでも宿題を終えたことの対比を明示する。

I was tired, ___ I still finished my homework.

A. but

B. and

C. or

D. so

解答・解説

正解：A

まず、設問の指示から、空所に入れる接続詞によって、前半の「疲れていた」と後半の「それでも宿題を終えた」という内容の対比を明示する必要があると判断する。次に、but が対比を表す接続詞であることを確認する。

対訳

I was tired, but I still finished my homework.

私は疲れていたが、それでも宿題を終えた。

but は前後の内容を対比させる。前半では疲れていたこと、後半ではそれでも宿題を終えたことが述べられており、指定された意味関係に合っている。

A. but は前後の内容の対比を明示するため、正解である。

B. and は前後の内容を追加・並列する接続詞であり、それ自体は対比を明示しない。still によって文全体から対比を読み取ることはできるが、接続詞によって対比を明示するという指定には合わない。

C. or は選択肢を示す接続詞である。この文では 2 つの内容の対比が求められているため、指定された意味関係に合わない。

D. so は前後の内容を原因・結果の関係で結ぶときに使う。この文では、疲れていたことと宿題を終えたことの対比を明示する必要があるため、指定された意味関係に合わない。

4. 演習問題

1

次の英文について、and が結んでいる範囲の説明として正しいものを選べ。

Lena bought apples and oranges yesterday.

A. and は bought と oranges を結んでいる。

B. and は Lena bought apples と oranges yesterday を結んでいる。

C. and は apples と oranges を結んでいる。

D. and は apples と oranges yesterday を結んでいる。

2

次の英文について、and が結んでいる範囲の説明として正しいものを選べ。

The children played in the yard and near the river.

A. and は yard と near the river を結んでいる。

B. and は played in the yard と near the river を結んでいる。

C. and は in the yard と river を結んでいる。

D. and は in the yard と near the river を結んでいる。

3

次の英文について、but が結んでいる範囲の説明として正しいものを選べ。

Nora opened the window, but the room stayed warm.

A. but は Nora opened the window と the room stayed warm という 2 つの節を結んでいる。

B. but は the window と the room という 2 つの名詞句を結んでいる。

C. but は opened the window と stayed warm という 2 つの動詞を中心とするまとまりを結んでいる。

D. but は Nora opened the window と stayed warm を結んでいる。

©ミライコーチング

4

次の英文について、or が結んでいる範囲の説明として正しいものを選べ。

Maya enjoys reading novels or watching movies.

A. or は novels と watching movies を結んでいる。

B. or は reading novels と watching movies という 2 つの語句を結んでいる。

C. or は reading novels と watching を結んでいる。

D. or は Maya enjoys reading novels と watching movies という 2 つの節を結んでいる。

5

空所に入る最も適切な語を選べ。2 つの品物を両方買ったという、追加・並列の関係を表す。

At the shop, I bought a notebook ___ a blue pen.

A. or

B. but

C. so

D. and

6

空所に入る最も適切な語を選べ。接続詞によって、前後の内容の対比を明示する。

Nina was tired, ___ she kept working until six.

A. and

B. or

C. but

D. so

7

空所に入る最も適切な語を選べ。2 つの交通手段から、どちらか一方を選ぶ意味を表す。

For the trip, you can take a bus ___ a train.

A. or

B. and

C. but

D. so

©ミライコーチング

8

空所に入る最も適切な語を選べ。2 つの楽器の両方を演奏するという、追加・並列の関係を表す。

Ben plays the piano ___ the guitar in the school band.

A. but

B. and

C. or

D. so

5. 演習問題の解答・解説

1

正解：C

判断の決め手は、and の前後で結ばれている語を確認することだ。英文では apples と oranges が並べられており、and はこの 2 つの語を結んでいる。

対訳

Lena bought apples and oranges yesterday.

レナは昨日、りんごとオレンジを買った。

A. bought と oranges は、動詞と名詞であり、英文で and が結んでいる語の組み合わせではない。

B. Lena bought apples と oranges yesterday は、文中で and が結んでいる apples と oranges の範囲を正しく示していない。Lena bought apples まで含めると、並列されている語句の範囲がずれる。

C. apples と oranges は、どちらも bought の目的語となる語であり、and が結んでいる範囲と一致する。

D. apples は結ばれている語の一つだが、oranges yesterday には時間を表す yesterday まで含まれている。and が結んでいるのは apples と oranges であり、yesterday はその範囲に含まれない。

2

正解：D

判断の決め手は、and の前後にある語をそれぞれまとまりとして捉えることだ。ここでは場所を表す 2 つの句が結ばれている。直近の単語だけでなく、前置詞から始まる句全体を確認する。

対訳

The children played in the yard and near the river.

子どもたちは庭で、そして川の近くで遊んだ。

A. yard は場所を表す句 in the yard の一部であり、near the river は句全体である。両側の範囲が一致していない。

B. played in the yard は動詞 played を含むまとまりだが、near the river は場所を表す句である。and が結んでいるのは、この 2 つのまとまりではない。

C. in the yard は前半の場所を表す句全体だが、river だけでは後半の場所を表す句全体にならない。後半には near the river が必要である。

D. in the yard と near the river は、どちらも場所を表す句であり、and が結んでいる範囲と一致する。

3

正解：A

判断の決め手は、but の前後に主語と動詞を含む節があることだ。but は、窓を開けたことと部屋が暖かいままだったことを対比させながら、2 つの節を結んでいる。

対訳

Nora opened the window, but the room stayed warm.

ノラは窓を開けたが、部屋は暖かいままだった。

A. Nora opened the window と the room stayed warm は、それぞれ主語と動詞を含む節であり、but が結んでいる範囲と一致する。

B. the window と the room は、それぞれ名詞句だが、英文で but が直接結んでいるのは名詞句どうしではなく、2 つの節である。

C. opened the window と stayed warm は、動詞を中心とするまとまりだが、前半の主語 Nora と後半の主語 the room が含まれていないため、節全体ではない。

D. Nora opened the window は前半の節全体だが、stayed warm には後半の主語 the room が含まれていない。したがって、2 つの節全体を正しく示していない。

4

正解：B

判断の決め手は、or の前後で並べられている語句を確認することだ。この文では、マヤが楽しむこととして、読書と映画鑑賞という 2 つの活動が選択的に結ばれている。

対訳

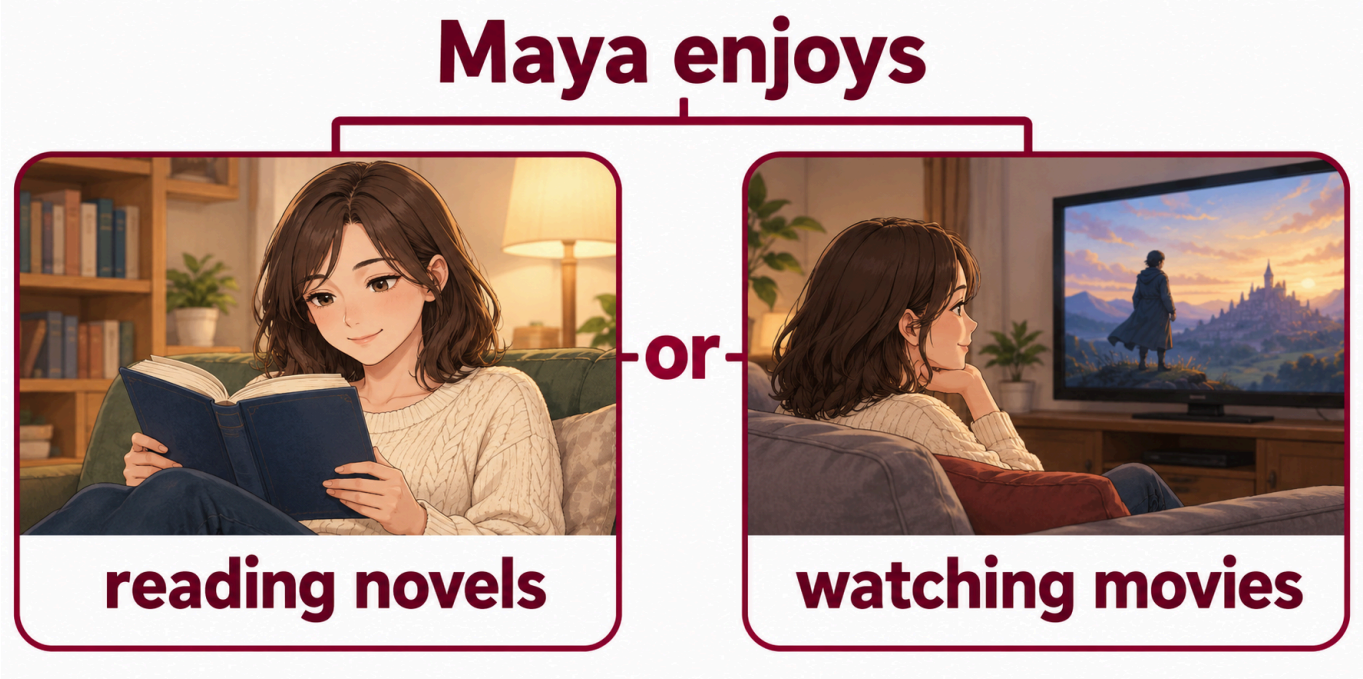
Maya enjoys reading novels or watching movies.

マヤは小説を読むこと、または映画を見ることを楽しんでいる。
A. novels は前半の語句 reading novels の一部であり、watching movies は後半の語句全体である。結ばれている範囲が一致していない。

B. reading novels と watching movies は、それぞれ活動を表す語句であり、or が結んでいる範囲と一致する。

C. reading novels は前半の語句全体だが、watching だけでは後半の語句全体にならない。後半には movies も含まれる。

D. Maya enjoys reading novels は文字列単独では節として読めるが、この文で or が結んでいるのは reading novels と watching movies という 2 つの活動の句である。したがって、Maya enjoys reading novels と watching movies は、実際に結ばれている範囲と一致しない。



or は、共通する Maya enjoys に続く reading novels と watching movies という 2 つの活動を選択肢として結ぶ。

5

正解：D

判断の決め手は、ノートと青いペンという 2 つの品物を追加して並べる意味関係であることだ。
and は語句どうしを結び、情報を追加する。ここでは a notebook と a blue pen という 2 つの名詞句が結ばれている。

対訳

At the shop, I bought a notebook and a blue pen.

私は店でノートと青いペンを買った。

A. or は文法的に使えるが、2 つの品物を選択肢として示す意味になる。両方を追加して並べるという指定には合わない。

B. but は対比を表す接続詞で、名詞句どうしを結ぶこと自体は可能である。しかし、この文脈には対比がなく、2 つの品物を追加して並べる意味を表すには適さない。

C. so は通常、節どうしを結んで結果を表す。この位置では名詞句 a notebook と a blue pen を適切に結べず、文の構造に合わない。

D. and は 2 つの名詞句を結び、品物を追加して並べる意味を表すため、正解である。

6

正解：C

判断の決め手は、疲れていたことと、6 時まで働き続けたことの対比を明示する必要がある点だ。
but は前後の節を結び、前半の内容から予想されることとは異なる内容を後半に示す。

対訳

Nina was tired, but she kept working until six.

ニナは疲れていたが、6 時まで働き続けた。

A. and は 2 つの節を文法的に結び、内容を追加することができる。しかし、接続詞自体は対比を明示しないため、指定された意味関係には合わない。

B. or は 2 つの節を文法的に結ぶことができるが、前後の内容を選択肢として示す意味になる。疲れていたことと働き続けたことの対比を明示する指定には合わない。

C. but は 2 つの節を結び、疲れていたことと、それでも働き続けたことの対比を明示するため、正解である。

D. so は前半の内容を理由として、後半にその結果・帰結を示す。この文では、疲れていたことと働き続けたことの対比を明示する必要があるため、指定された意味関係に合わない。

7

正解：A

判断の決め手は、旅行で利用する交通手段として、バスと電車のどちらかを選ぶ意味が指定されていることだ。or は選択肢を示し、ここでは a bus と a train という 2 つの名詞句を結んでいる。

対訳

For the trip, you can take a bus or a train.

旅行では、バスか電車を利用できる。

A. or はバスと電車を選択肢として示すため、指定された選択の意味に合う。

B. and は文法的に使えるが、バスと電車を追加して並べる意味になる。どちらか一方を選ぶという指定には合わない。

C. but は適切な対比の文脈があれば名詞句どうしを結ぶことができる。しかし、この文脈には対比がなく、交通手段の選択を示す意味にも合わない。

D. so は通常、節どうしを結んで結果を表す。この位置では名詞句 a bus と a train を適切に結べず、文の構造に合わない。

8

正解：B

判断の決め手は、ベンが学校のバンドでピアノとギターの両方を演奏するという追加・並列の関係であることだ。and は the piano と the guitar という 2 つの名詞句を結んでいる。

対訳

Ben plays the piano and the guitar in the school band.

ベンは学校のバンドでピアノとギターを演奏する。

A. but は適切な対比の文脈で名詞句どうしを結ぶことができる。しかし、この文脈ではピアノとギターを対比させる必要がなく、両方を演奏するという追加・並列の意味に合わない。

B. and は 2 つの名詞句を結び、ピアノとギターの両方を演奏するという追加・並列の意味を表すため、正解である。

C. or は文法的に使えるが、ピアノとギターを選択肢として示す意味になる。両方を演奏するという指定には合わない。

D. so は通常、節どうしを結んで結果を表す。この位置では名詞句 the piano と the guitar を適切に結べず、文の構造に合わない。